

波賀中だより

宍粟市立
波賀中学校
2024.5.31
5月号



家庭や地域の「愛」に込めるために

教頭 中井 孝一郎

新緑の映える季節となり、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、また波賀学園の児童生徒をあたたく見守っていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、先月の校報でも述べましたが、六年ぶりに波賀中学校へ赴任しました。生徒と出会った際、まず感じたことは「本当に、いい挨拶をするなあ。」ということでした。私が駐車場から校舎へ移動する時、部活動のために登校した生徒が、きちんと立ち止まり、こちらを向き、丁寧に頭を下げながら「こんにちは」と心のこもった挨拶をしてくださいました。大変、感動しました。そして、帰りの車中、その生徒の姿を思い返しながら、「なぜ、波賀中学校の生徒は、あのような挨拶ができたのだろう。」と考えました。挨拶は当たり前のこととよく言われますが、簡単なことではないからです。私が至った結論は、「愛」と「信頼」があるからではないかということです。

きっとあの生徒は、家庭をはじめ地域や学校など、多くの方々からたくさん愛情を注がれ、あたたかい声掛けをしてもらっているのでしょう。だから、他者に対する信頼がしっかりと築かれているのだろうと考えました。

そして、四月、五月と過ごす中で、このことは一人の生徒に限ったことではなく、学校全体に共通することだと感じるようになりました。生徒たちが日々生活する中で見せるちょっとした態度や言葉かけなどからそう思います。

先日、九年生が修学旅行へ行きましたが、見送りに来ていただいた保護者の方々の様子を見ると、自分の子どもだけでなく、他の生徒にもあたたかく声をかけ、気にかけていただいているように感じました。そして、生徒たちの方は、保護者を作ったお弁当に対して素直に感動したり、少し体調を崩した生徒がいれば、あたたかい声掛けやサポートができてきたようです。人間として集

団としての成長を感じ、心があたたかくなったと学年の先生方から聞きました。

これからの時代は、予測が困難な時代と言われ、変化への対応力が問われています。そのような状況下において大切なことは、人と人の「絆」だと考えます。それぞれの個性を生かしながら協力することで、様々な困難に立ち向かっていくことが可能となります。「絆」の土台となるのは「愛」であり、「信頼」であると思います。家庭力や地域力の高さは、波賀中学校区の大きな強みであると言えるでしょう。その強みである家庭や地域からの「愛」に込めるべく、日々の学習、学校行事、部活動など、様々な場面で生徒たちの「絆」をさらに強めていきたいと思っています。

本校では、昨年四月より併設型小中一貫校「波賀学園」として、小中学校との連携をさらに強め、義務教育九年間を通じて一貫した教育活動の推進をめざしています。先日、五月二十二日(水)には、本校生徒会執行部が主体となり、波賀小学校の児童との縦割り班で様々なゲームを行う「波賀学園ふれあい交流会」を実施しました。

近年、児童生徒数の減少が著しい中、このような異年齢での交流は生徒たちの「思いやりの心」や「共生の心」を養うために非常に貴重な機会となっております。今後は小中合同での情報教育講演会、小中合同授業参観、食育交流などを実施するほか、みどり保育園、波賀幼稚園も含めた校種を超えた交流行事も行い、連携を図っていく予定です。

また、日々の授業において小中学校それぞれの職員が交流して授業に参加するなど、学習面においても小中連携して指導にあたっています。このことは、児童生徒一人一人に応じた指導・支援を行うことにつながり、子どもたちが小学校から中学校へ入学する際の円滑な接続を可能にしています。

さらに本校では、ふるさとカレンダーの制作や波賀森

林鉄道体験など、「ふるさとを愛し誇りをもつ心」の育成にも力を入れています。各教科での学習や学校行事を通じて、ふるさと波賀の魅力を再認識し、次世代の地域を担う人材の育成をめざしていきます。

今後も、地域の宝である波賀学園の児童生徒に対して、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

習学良好 ～楽しむ他ない～

九年 学年主任 山本 昌寛

五月十五日(水)～十七日(金)にかけて、「習学良好～楽しむ他ない～」のスローガンのもと、九年生は東京方面への修学旅行を実施し、無事終了しました。

この修学旅行の実施に向けて、まずは班がまとまること、そしてクラスが一つにまとまるのが大切であるという観点から、入念に準備を進めてきました。一生の思い出に残る修学旅行にするために、生徒たちは自分のことだけでなく、クラスメイトのことを思いやり考えながら計画を立てることができ、その姿に感心しました。

旅行当日、たくさんの方々の保護者の方々に見送られながら、元気に出発しました。東京行きの新幹線では、お菓子を食べながら談笑したり、おいしくお弁当をいただいたりしている生徒の様子から、これから向かう東京を本当に楽しんでいるのだなと改めて感じました。東京駅到着後、まず国会議事堂を見学しました。例年、全国から修学旅行生がたくさん訪れるため、待合ホールに行くまでに時間を要するのですが、この度の旅行では、タイミングが良かったのかほぼ貸し切り状態で、じっくりと見学をすることができました。次に、東京ディスプレイランドに行きました。集合場所を確認しクラス写真を撮ったあと、いよいよ個別での行動が始まりました。どのアトラクションに行くのか、事前に計画を立てていましたが、待ち時間が思った以上に長く、断念した班もありました。しかし臨機応変に対応し、各班でそれぞれ充実した楽しい時間を過ごすことができました。集合時間に遅れる班もなく、一日目を終了することができました。

二日目は、都内班別自主研修を行いました。生徒たちが一番計画に時間を費やしたのが班別自主研修でした。朝食後、諸注意を済ませ三々五々活動を開始しました。午後五時半に新宿駅南口に集合すると決めていたので、約九時間の班別研修となりましたが、事前学習をしていた場所を順に訪れながら、楽しい時間を過ごすことができました。行き先は各班で違いますが、原宿や渋谷、新大久保など、それぞれの班で東京を満喫できたようでした。夜は、ルミネTheよしもとでお笑いライブを楽しみました。普段テ

ビで見ていた人たちが目の前にいることに不思議な感覚を抱きながらも、みんなで楽しい時間を過ごしました。

三日目(最終日)は、まず浅草寺に行きました。三社祭の初日で、人の多さや浅草寺の提灯が折られたため、三社祭のことなどを心配していましたが、無事に提灯の下で記念撮影もでき、短時間ではありましたがここでも班別で散策をしました。次に東京スカイツリー。都内を一望できるその景色を目に焼き付け、最後のプログラムを終了し、羽田空港から帰途につきました。

三日間を通して生徒一人一人の意識が高く、感心させられることが何度もありました。教師が起床時間に起こして回ると、すでに生徒は起きていて、着替えも終わり、部屋も片付いていました。全ての日程において、時間をしっかりと守ることができていました。こういった意識の高さが、無事に全日程を終了することにつながったのだと思います。校長先生のあいさつにあった三つの【あ】「安全・あいさつ・新しい発見」、そして四つ目の【あ】「ありがとう(感謝の気持ち)」。この四つの【あ】を行動したり、感じたりしながら生徒たちにとって一生に一度の修学旅行は、多くの学びもあり、とても思い出になりました。最後に保護者の皆様には、金銭面はもとより、朝早くからの見送り、お迎えなどいろいろとお世話になり、ありがとうございました。

六月の予定

- 三日(月) 八年生トライやる・ウィーク(七日まで)
- 四日(火) ノー部活デー
- 五日(水) スクールカウンセラー来校
- 十日(月) 家庭学習週間(十四日まで)
- 十二日(水) 耳鼻科検診(七年生)
- 十四日(金) スクールカウンセラー来校
- 十四日(金) 講師招聘道徳授業研修会
- 十八日(火) テスト前部活停止(二十一日朝まで)
- 十九日(水) 市総体抽選会
- 二十六日(水) 期末テスト(二十一日まで)
- 二十六日(水) スクールカウンセラー来校
- 健康教室(七年生)
- 二十八日(金) スクールカウンセラー来校
- 二十九日(土) 市総体壮行会
- 登校日
- 三十日(日) 市総合体育大会 一日目
- 三十一日(月) 市総合体育大会 二日目
- 七月一日(月) 振替休業日

◇ 修学旅行を終えて ◇

九年 〇〇〇〇

私は、この修学旅行で学んだことや思い出に残ったことがたくさんあります。

一つ目は、切符の買い方や電車の乗り方です。二日目の班別研修で、池袋から新大久保へ行く時、山手線に乗るための切符を買わないといけないのに、私は切符の買い方がわからなくて、駅で少し困ってしまいました。班のみんなが駅員さんに聞いて切符は無事に買えましたが、その時に、路線によって切符の購入場所が違うということも知れたし、人に聞くことの大切さもわかりました。

二つ目は人に対する優しさです。東京は、やっぱり人が多くて歩くのも大変になる時がありました。ぶつかることや道を譲ることが結構あって、その時に何にも言わないのではなくて、聞かなくても「ごめんささい」「ありがとうございます」を言いたいなと思いました。また班別行動の時に、私の行きたいところがあったら、班の子が「待つてくよー」と優しく言うてくれてすごく嬉しかったです、ありがたかったです。私も人に対して優しく接していきたいです。

私がこの修学旅行で一番印象に残ったことは、班別自主研修です。初めての東京で、六人という大人数で動いた経験が今までになかったのでドキドキしました。一日東京で自由に過ごさせて、めちゃくちゃ楽しくて、みんなとも仲良くなれたと思うし、いい思い出になりました。この一日は、誰も後悔なく楽しいものにしたかったので、修学旅行前の総合の時間などにたくさん計画しました。スムーズに進んだのでよかったです。調べて計画するのは大変でしたがかかったけれど、良い一日にできたのでちゃんと調べておいて良かったなと思います。

この修学旅行では、副実行委員長になったり班長になったりして、今までまとめ係になったことがなかったののでドキドキしました。班のメンバーを決めたり、点呼したり、出発式や解散式の司会やあいさつをしたり、仕事が多くて大変だったけれど、うまく



行動できたし、全ての場所で集合時間より早くに集まることのできたのでよかったです。あいさつも司会も上手にできたと思うのでよかったです。学べることもたくさんある修学旅行にできたし、新しいことにも挑戦できる修学旅行になりました。これからも何からでも学べるような自分になりたいし、不安なことや新しいことにも挑戦できる自分になりたいです。



私がこの二泊三日の旅で学んだことは、とてもたくさんあります。

一日目に学んだことは、班の子たちと協力して行動したり、時間を守って行動したり、班の子たちを上手にまとめることです。特に、班の子たちと協力して行動できるかが心配だったけれど、思っていたよりみんなと協力できたし、時間も守って十分前には集合して点呼を取れたので良かったです。一日目を振り返って良かったところはたくさんありますが、特に良かった所は、デイズ二ランドで道に迷ったり目的地にたどり着けなかったりした時に、諦めるのではなく周りのキャストさんに聞いて動くことができたことです。

二日目に学んだことは、自分たちだけで物事を判断して行動することです。班別研修では、先生がいない中で行動するので、初めは楽しみな気持ちよりも心配な気持ちが大きかったです。特に、電車移動で間違えて乗ってしまわないかがとても心配でした。たくさんの方がいる中で集団行動をするのはとても難しいし、自分のことだけを考えて行動するとたくさんの人に迷惑がかかってしまうので、一つ一つの行動に責任を持たないといけないと学びました。途中で道に迷ってしまうこともあったけれど、諦めてしまふのではなく、「どの道だったら行けるか」などみんなで話し合っって目的地にたどり着くことができました。二日目を振り返って良かったところは、みんなで色々な場所に行けたことです。ハッピーングもあったけれど、み

んなで協力して乗り越えられたのでとても良かったです。集合時間もしっかりと守ることができました。

二日目に学んだことは、できることを、気を抜かずにやるということです。三日目で疲れている中、気を抜かずに行動するのは大変だったけれど、みんなをまとめたり、素早く並んで点呼を取ったり、色々なことを一日目と変わらず素早くできて良かったです。東京スカイツリーでは、迷ってしまったので集合時間ギリギリになってしまったけれど、しっかりと謝りながら集合場所に向かうことができた。飛行機に乗る前の検査や、荷物を預けるのは初めてのことであったけれど、話をしっかりと聞いて後ろの人に迷惑をかけないように動けたところがとても良かったです。三日目を振り返って良かったところは、疲れているはずなのに、疲れを見せないくらい素早く動けたところだと思います。

二泊三日は、自分にとって忘れられないとても大きな経験になりました。普段はみんなを引っ張ったりすることはないけれど、この修学旅行で班長になり、班長じゃないとできない色々なことが体験できてとても良かったです。大変なことがとても多かったです。色々なことが成功するたびに達成感があつて、班長に立候補して本当に良かったと思います。



◇ 波賀学園ふれあい交流会を終えて ◇

七年 〇〇〇〇

私は「しっぽ取り」が一番楽しかったです。一回目は、けつこびつて取りに行けなかったけれど、二本とも残って良かったです。二回目は、妹がいたのでやつつけども頑張って取りに行ったら、逆に取られてしまったけれど、一本は残ってよかったです。

ブルーシートに乗るゲームも五回も乗れたので、とてもうれしかったです。結果は、紫チームが勝ったので良かったです。

八年 〇〇〇〇

交流会で久しぶりに小学生と会いました。いろんなゲームをした中で、一番楽しかったのは「しっぽ取り」です。僕たちは、ルールで歩くことしかできなかったけれど、だからこそしっぽを取ったときはうれしかったです。いろんな学年の子たちと仲良くなれたので良かったです。来年が楽しみです。

九年 〇〇〇〇

去年も波賀学園ふれあい交流会をしたけれど、去年とちがうゲームもできてとても楽しかったです。中学校に入ってから小学生と関わる機会がないと思っていたので、去年と同じように交流できたのはとてもうれしかったです。

僕が一番楽しかったのは「しっぽ取り」で、五〜九年生にはルール上での色々な縛りがあったけれど、小学生の子たちがワイワイやっているのを見てうれしくなりました。



【表彰の記録】

《野球部》

宍粟市北部中学校軟式野球大会

優勝

《リサイクル活動収益金の》報告《

五月十九日(日)、リサイクル活動を実施しました。保護者の皆様や地域の皆様のご協力のおかげで、たくさん回収することができました。

収益金は、子ども達の教育活動が円滑に行われるように大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

次回、八月四日(日)を予定しています。ご協力よろしくお願ひします。

収益金 154,660円